

2010年4月5日 出版

## 『シリーズ21世紀の農学』

# 「世界の食料・日本の食料」

日本農学会編

出版：養賢堂

世界の人口は、2050年には90億人を超えるまでに増加することが予測されています。それにともない世界の食料総供給量は今後も増加傾向となることが確実であり、食料の安定供給と安全確保は人類生存の最重要課題となっています。

また今日に食料問題は、こうした人工増加のみならず、食料価格の高騰、グローバル化の進展、新興国の経済発展、南北格差の拡大、食生活の高度化、地球規模の気象異変等といった食を取り巻く諸条件の変化によって、より複雑化・深刻化しています。

これまででも、そしてこれからも食料問題の解決は、農学に課された最大の使命でもあることはいまでもありません。

平成21年10月10日開催されたシンポジウムでは、農産物、畜産物、水産物における食料需要の現状と展望を明らかにし、食料の安定供給と安全確保を目的とした技術開発について紹介し、今後の農学の果たすべき役割と課題について議論を深めることを目的としました。

本書は、その成果の概要を詳細にわかりやすくまとめ、充実した内容の1冊となっています。研究者はもとより、学生や一般の方々など食料の安定供給や安全に関心のある方にもお奨めします。



◆体裁 A5判 177ページ

◆定価 2,000円（税込）

### ■主な収載項目■

- |                                  |                 |
|----------------------------------|-----------------|
| 第1章 世界の食糧事情と日本農業の進路              | (日本大学 大賀圭治)     |
| 第2章 世界の畜産事情と日本畜産の可能性             | (九州大学 福田 晋)     |
| 第3章 世界の水産事情と日本水産業の課題             | (近畿大学 小野征一郎)    |
| 第4章 食料危機を克服する作物育種                | (作物研究所 岩永 勝)    |
| 第5章 畜産物の安定供給をめざした技術開発について        | (畜産草地研究所 寺田文典)  |
| 第6章 水産物の安定供給を目的とした技術開発           | (東京海洋大学 吉崎悟朗)   |
| 第7章 持続性・循環を目指した農業生産技術・システムの総合的評価 | (酪農学園大学 干場信司)   |
| 第8章 食料の安定供給と安全確保をめざす農薬利用技術       | (日本植物防疫協会 上路雅子) |
| 第9章 動物感染症の制御と畜産物の安全              | (東京大学 関崎 勉)     |

日本農学会

〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1

TEL03-5842-2287

FAX

03-5842-2237

URL : [www.ajass.jp](http://www.ajass.jp) mail: [office@ajass.jp](mailto:office@ajass.jp)